



助手助教会を開催しました

2月1日・15日の両日、「助手助教会」をそれぞれ違うテーマで開催しました。今回は、「道院のコンプライアンスについて」・「ハラメントについて」をテーマに開催しました。両方とも道院運営には必須事項。今後は、座学だけではなく技術面での講習会を定期開催したいと思います。

道院運営は、道院長一人では無理、幹部



2026.02.15 助手助教会(塩竈道院専有道場)

の皆さんの協力で可能となるもの、ご協力をお願い致します。また、参加いただいた皆さん、ありがとうございます。

塩竈市民まつり

4月26日(日)、塩竈神社の花祭りに合わせて「塩竈市民まつり」が盛大に開催されます。この中で、多数の出店が出る北浜緑地公園内仮設ステージで近隣市町村の各団体の演技披露があります。

このステージ披露に「少林寺拳法宮城県連盟」としてエントリーしました。「塩竈道院」と「仙台社都道院」の他、「塩釜旭スポーツ少年団」・「多賀城城南道院」の皆さんと対応して行きたいと思えます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

大澤隆管長 縁起

開芽吹き季節 自分歩みを決める

3月となりました。寒い日と暖かい日が交互に訪れ、春が少しずつ近づいてくるのを感じます。草木が芽吹き、花が開くこの季節は、大地のたいなる力が命を育む時節でもあります。私たち人間もまた同じで、寒さの中で積み重ねた修練や鍛錬が、春になつて確かな実りとして現れてくるものです。

今月は年度末。まもなく4月から新学期・新年度が始まります。道場にいる子どもたちを見ると、1年間の成長が著しく、その変化の大きさに驚かされますが、大人も決して止まっているわけではありません。実感しづらくとも、日々の小さな積み重ねが確かに前進となり、やがて1年の歩みとして形になります。子どもたちの成長に励まされながら、私たちもまた「自分自身も変わっていく」と、心を新たにしたいものです。大切なのは、「自分の歩みが人生になる」ということです。自分の人生は自分で決める。流されるように過ごすのではなく、ま



土曜日の稽古での休み時間(塩竈道院)

今後の予定

- ◎3月15日(日) 審判講習会(青葉体育館)
- ◎3月22日(日) 幹部講習会(助士助教会:塩竈道院専有道場 研修室)
- ◎4月19日(日) 特別稽古(塩竈道院専有道場)
- ◎4月26日(日) 塩竈市民まつり(塩竈市北浜緑地公園)

ずは自分が本当にやりたいこと、目指したい理想に向き合ってみてください。少林寺拳法の修練も同じです。同じ時間と命と身心を使うのなら、まずは自分のために、喜んで取り組める修行として続けてください。その充実が深まるほど、いつしか周囲へと分け与えられるものが増え、人のために動ける力となっていくます。自分を磨くことは、巡り巡って人を活かすことにつながります。



2026.01.24 地域社会武道研修(宮城県県武道館)

中国古典 紹介

少林寺拳法を楽しみながら続け、「いい修行だな」「少林寺拳法が好きだな」と実感できるほどに、見える景色は新たに開けてまいります。年度末の慌ただしい時期ですが、身心を整え、日々の修練を励行しつつ、新年度を晴れやかに迎えてまいります。

疑^{うたが}わば用^ううるなかれ、

用^ういては疑^{うたが}うなかれ『通俗編』
人使いの神髄である。しいて訳せば、「疑つたら使うな、使つたら疑うな」となる。つまり、信頼のおけない人間は初めから登用するな、これはと見込んで登用したら、とことん信頼して使え、というのだ。



土曜日の稽古での休み時間



稽古後のなわとび(仙台杜都道院)

リーダーかくあるべしということだが、一般にはこの逆のケースが多いのではないかとせつかく部下を登用しても、信頼して仕事をまかせることができない。部下としては、自分が上から信頼されているかいないか、敏感にわかる。信頼されていないとわかれば、萎縮する。萎縮すれば、実力の半分も出さず、悪循環である。

もつとも、部下を信頼せよと言っても、その相手が信頼するに足る人間であるかどうか、とつくり見極めてかからなければならぬ。信ずべからざる人間を信じるのは、これまた大怪我の元だ。

人を見る眼をもたなかったら、リーダーはつとまらないということでもある。